

## 調査票3集約表

班	所属	区分	氏名	1 講習会の初日から3日目までの天候から、現場の雪崩の危険性についてどのように認識していましたか。	2 今回の講習期間中、那須岳に大雪に関する気象情報が出ていたことは把握していましたか。把握していたとすれば、いつ、どのような手段で把握しましたか。	3 当日の豪雪状況や積雪の状況など、ラッセル判断が実施可能と判断した根拠は何でしたか。
1	真岡高等学校	講師	曾又 久雄	天気予報から講習会期間中の26日(日)午後から27日(月)朝にかけて天気が晴れることを確認하였다。この間に雪崩の可能性については、普段の時期に出ていることも多く、その事ですぐに判断出来ないことが多いのが現状であった。	天気が晴れることは知っていたが、ラジオ等では那須岳に大雪に関する気象情報が出ていたことは知らなかった。	各所はしばらくの解散にならため、この日の実技講習終了時に豪雪警報が発せられ、豪雪警報(O.L.曾又、別空真吾、佐野洋介の3人)は雪山登攀を止め、安全な場所で待機していた。また、次の行動について21日朝6:00の休子を見て決めることになった。
2	栃木高校 (真岡高等学校)	講師	渡辺 浩典	沢野や、樹林のない大きな急斜面では危険性があると考えた。	把握していなかった。	風はあまりなく、雪の盛り方も強くなかった。
3	矢板東高校	講師	澤村 哲史	天気・気象情報をチェックしていくので、注意報が出ているという情報としては認識していました。また、一日が比較的あがつたので雪が溶け、2日目に降雪が多くあつたことから、雪崩の可能性は認識していました。	雪崩に参加する前から気象情報を1週間近くから毎日モニターやインターネットで確認していました。また講習も朝と晩はインターネットで確認していました。	豪雪警報には15時頃の15時頃の時点では予定通りだったが、翌日は岳山を発表するところであった。それ以外の遷移段は、2日目の時点では聞いていない。
3	那須川越高等学校	講師	本嶋 広己	3日間を通して、講師の先生方の判断に任せていたということがあるので、認識していました。	把握していません。気象情報の確認と判断は本部または主任講師がするものと認識していました。	判断する立場にはありませんので、分かりかねます。
3	那須川越高等学校	講師	手塚 勝紀	携帯電話の天気ニュースを利用していました。	最終日の前日夜に携帯ニュースで知りました。 観測することはありました。	わかりません
4	黒磯高等学校 (大折中央高等学校)	講師	高秀 大作	雪は多かつたが、現場での雪崩の危険性は認識していなかつた。	2日目夜6時～7時ごろに雪が降ったかと思うが、テント内で天気予報を確認した。 スマークマークの天気アプローチで天気予報を確認した。 雪崩注意報が出ていることは、そのままであることはあります。(委員長やCLは知っていると思います)	注連縄そのものは3月までの山形はよくあることだと思います。 注連縄については、豪雪の有無などの判断する立場ではありません。
4	矢板中央高等学校	講師	■	春先は常に雪崩の危険性があるので、この日だけが特別もないという認識はありませんでした。	2日目夜6時～7時ごろに雪が降ったかと思うが、テント内で天気予報を確認した。 スマークマークの天気アプローチで天気予報を確認した。 雪崩注意報が出ていることは、そのままであることはあります。(委員長やCLは知っていると思います)	判断する立場ではありません。
5	真岡女子高	講師	小林 刑生	3日目の朝に最初に雪が降るまで雪崩の危険性は認識していませんでした。	3日目の朝に雪が降るまで雪崩の危険性は認識していませんでした。 3日目の天気予報で28日・29日の天気予報は雪が降るまで雪崩の危険性は認識していませんでした。	特に翌日の予定や打ち合わせに参加しておらず、 実施可能と判断した本人ではありませんのでわかりません
特機	大田原高校	講師	猪瀬 修一	「雪の予報が出ており、実際に雪が降り、かなりの落書きがあったと思ったら、この落書きでは、雪崩の可能性がある事所にはいかない」と認識していました。	1日の雪崩打合せ時に都農で「雪が降ったので、そのとき天気予報で2日目と3日の雪の予報は確認していました。天気の情報までは確認できていませんでした。	大雪の情報は把握していませんでした。那須委員長たちが当日の様子を見て検討することについています。
特機	宇都宮高等学校	講師	明博	那須岳に限らず、条件が揃えば雪崩が発生してもおかしくないと漠然と考えていた。	1日の雪崩打合せ時の天気予報、 2日目のレーダーの天気予報、 3日の雪のマートルにおける那須地区の天気予報 講習会中、雪が降ることは認識していました。	雪崩打合せ時は降っていたが、(庄野)無風状態で投げても止まらない。スキーヤーが雪をラッセルしながら歩く分には問題ない」と判断しました。
特機	宇都宮高等学校	講師	明博	期間中、豪雪警報メール、携帯サイト【お天気ナビゲーター】(日本気象)により把握	豪雪ではないため、参加する立場にない	判断に参加していないので記入できません

班	所属	区分	氏名	3-2 判明した時(用語を聞いた時)、スキー場上部の山はどこまで目視できることができましたか。	4 ランセル剣練習はどこまで見渡すことができたのか。あつたとすればどこまで見合せたのか。	5 ランセル剣練習はどこまで見渡すことができましたか。あつたとすればどこまで見合せたのか。
1 真岡高等学校	特機	講師	音又 久雄	スキー場1ゲレンデ中央付近の大木およびそのかなり先まで目視できましたが、上部の山はかすんでいた。	4-2 出発時にスキー場はどこまで見渡すことができましたか。スキー場の上部の山は、どこまで目視することができますか。	4-2 出発時にスキー場はどこまで見渡すことができましたか。スキー場はどこまで見渡すことができましたか。スキー場はどこまで見渡すことができましたか。スキー場はどこまで見渡すことができましたか。
2 板木高等学校 (真岡高等学校)	特機	講師	波辺 浩典	上部の山は見えなかった。樹林帯上部の平担部付近まで	4-30 に重合し、各班とも 7:50 にセンターハウスマ前を出発し雪はパラパラ降っている程度で、雲も碧かつた。	4-30 に重合し、各班とも 7:50 にセンターハウスマ前を出発し雪はパラパラ降っている程度で、雲も碧かつた。
3 弥須津高等学校	特機	講師	渕村 哲史	・その時点では確認していません。	8時頃に出発したと思われる。雪は積まっていた。雲も疊がなかつた。	8時頃に出発したと思われる。雪は積まっていた。雲も疊がなかつた。
3 弥須津高等学校	顧問	本郷 佑己	覚えていません	・その所乗した3班は8時45分ごろに出発したと記憶しています。雪は積くなかったと記憶しています。	・8時5分頃だと思う。雪は積まっていた。雲も疊がなかつたと思う。	・8時5分頃だと思う。雪は積まっていた。雲も疊がなかつたと思う。
4 黒瀬高等学校 (矢板中央高等学校)	講師	高秀 大作	覚えていません	・私の所乗した3班は8時45分ごろに出発したと記憶しています。雪は積くなかったと記憶しています。	・スキー場はほぼ全域が見渡せたことができた。樹林帯上部の平担部あたりでも見え、それより上は見えていなかつた。	・スキー場はほぼ全域が見渡せたことができた。樹林帯上部の平担部あたりでも見え、それより上は見えていなかつた。
4 矢板中央高等学校	顧問	黒瀬 雄一	覚えていません	8時40分頃雪はやや強かつたです。雲は疊あります。覚えていません	・スキー場はゲレンデ内全てを見渡せたと思います。上部の山は樹林帯の脇からまだ記憶しています。	・スキー場はゲレンデ内全てを見渡せたと思います。上部の山は樹林帯の脇からまだ記憶しています。
4 矢板中央高等学校	講師	高秀 大作	覚えていません	8時40分頃雪はやや強かつたです。雲は疊あります。覚えていません	・雪は強くなっています。木の木を登るにつれ雪が吸まってきたことがあります。雪と雲はやや重なつてたと記憶しています。	・雪は強くなっています。木の木を登るにつれ雪が吸まってきたことがあります。雪と雲はやや重なつてたと記憶しています。
5 真岡女子高	講師	小林 明生	覚えていません	8時45分頃雪はやや強かつたです。雲は疊あります。覚えていません	・最初は8時頃から、ゲレンデ付近は見ええた。樹林帯の上部や雲、山頂を目指できていたかどうかは記憶にありません。	・最初は8時頃から、ゲレンデ付近は見ええた。樹林帯の上部や雲、山頂を目指できていたかどうかは記憶にありません。
5 真岡女子高	特機	大田原義校	覚えていません	8時45分頃雪はやや強かつたです。雲は疊あります。覚えていません	・最初は8時頃から、スキー場のコースは上部まで目視できましたが、スキー場のコースは上部まで目視できませんでした。	・最初は8時頃から、スキー場のコースは上部まで目視できましたが、スキー場のコースは上部まで目視できませんでした。
特機 宇都宮高等学校	顧問	池間 明健	覚えていません	8時45分頃雪はやや強かつたです。雲は疊あります。覚えていません	・最初は8時頃から、スキー場のコースは上部まで目視できませんでした。	・最初は8時頃から、スキー場のコースは上部まで目視できませんでした。